

危機対応

1 様々な危機

地震・津波(登下校中、授業中、休み時間、放課後、校外学習中、休日)、
台風・大雨・強風、火災、
不審者(登下校中での遭遇、校舎内敷地内への侵入)、
生徒の万引き、家出、交通事故(登下校中、学校管理外)、
新型コロナウイルス、ノロウイルス、重大なけが、子ども同士のトラブル、保護者からの苦情
アナフィラキシー、熱中症
いじめ、情報漏洩、ネットにおける個人情報の拡散
DV、虐待、セクハラ、パワハラ、等々

2 基本的な対応

- 組織的に対応する。 管理職への連絡・報告する。チームで対応する。
 - 子ども、教職員の安全確保
 - 対応
 - ① 現状把握・実態把握
関係生徒への聞き取り、
 - ② 対応方針、対策方針の決定
 - ③ 該当生徒への対応
 - ④ 保護者への連絡
 - ⑤ 再発防止
 - ※保護者説明会(事案の経過と解決までの道筋、再発防止策、保護者に協力してもらう事項)
 - ※記者会見
 - ※SCやSSWにつなぐ ※専門機関、外部機関との連携
 - 時間系列で記録に残す
 - ※ハインリッヒの法則
- 1件の大きな災害には、29件の小さな事故や不具合があり、300ものヒヤリとする体験がある。
ヒヤリとする体験や小さなけが・事後が続くようなら、大きなけがや事故にならないように対応をする。

3 ケーススタディ

次の場合、あなたならどう対応しますか。

- ① 職員室で仕事をしていたところ、電話が鳴り受話器を取った。「生徒が自転車に乗って道いっぱい広がっているため、車が通れない。こちらに気付いてもちっともどかない。学校はどんな指導をしているのか。」といった抗議である。
- ② 朝、担任する子ども親から電話がかかった。「家族が新型コロナの濃厚接触者になりました。」
- ③ 担任する子どもの保護者から苦情の電話がかかった。「自分の子どもが上級生からいつも嫌がらせを受けていて、学校へ行きたくないと言っている。学校はどうしてくれるのか。」
- ④ 「先生、たいへんです。サッカーゴールのポストに頭を強く打って倒れています。」と、運動場にいたあなたに言いに来ました。
- ⑤ 副担任の先生から、担任するAさんがリストカットしているようだと教えてもらいました。